

科目名	農業機械研修	教員名	おおむね 大道 雅之	開講 コース	作物生産 花 園 芸	1年次 2年次	前・後期 前 期																														
<p>・ 目的と内容</p> <p>道立農業大学校農業機械研修センターにおいて、農業機械高度利用研修（初級、中級）の一般講習に参加して研修を行う。トラクタ、作業機の操縦及び農業機械の構造と整備方法、安全利用など専門知識について学科と実技を並行して習得する。本研修を終了し、検定試験に合格すると「農業機械士」（中級）の資格が得られる。本研修は農業機械学（1年前期）の単位を取得していること。また、大型特殊免許を有することが前提である。</p>																																					
<p>・ 授業計画 [単位数：2単位、 研修日数10日間]</p> <p>農業大学校農業機械研修センターのカリキュラムによる。</p> <p>初級総合コース</p> <table border="0"> <tr> <td>1日目</td> <td>学科</td> <td>トラクタの構造と機能の概論</td> </tr> <tr> <td>2日目</td> <td>学科、演習</td> <td>トラクタ事故の実体、点検整備用具の取り扱い、トラクタ、トレーラー基本操作</td> </tr> <tr> <td>3日目</td> <td>演習</td> <td>トラクタ、トレーラー基本運転操作、プラウ耕、ロータリー耕、歩行型トラクタ操作</td> </tr> <tr> <td>4日目</td> <td>演習</td> <td>トラクタ作業の基本、農業機械の点検整備、簡単な修理</td> </tr> <tr> <td>5日目</td> <td>演習</td> <td>農業機械の点検整備、簡易な修理、取り扱い作業の基本</td> </tr> </table> <p>中級</p> <table border="0"> <tr> <td>1日目</td> <td>学科</td> <td>農作業安全と農業機械の効率利用、トラクタの構造と機能</td> </tr> <tr> <td>2日目</td> <td>学科</td> <td>トラクタの構造と機能、点検と調整</td> </tr> <tr> <td>3日目</td> <td>演習</td> <td>農業機械の点検整備、簡易な修理</td> </tr> <tr> <td>4日目</td> <td>演習</td> <td>農業機械の点検整備、簡易な修理</td> </tr> <tr> <td>5日目</td> <td>技能試験</td> <td></td> </tr> </table>								1日目	学科	トラクタの構造と機能の概論	2日目	学科、演習	トラクタ事故の実体、点検整備用具の取り扱い、トラクタ、トレーラー基本操作	3日目	演習	トラクタ、トレーラー基本運転操作、プラウ耕、ロータリー耕、歩行型トラクタ操作	4日目	演習	トラクタ作業の基本、農業機械の点検整備、簡単な修理	5日目	演習	農業機械の点検整備、簡易な修理、取り扱い作業の基本	1日目	学科	農作業安全と農業機械の効率利用、トラクタの構造と機能	2日目	学科	トラクタの構造と機能、点検と調整	3日目	演習	農業機械の点検整備、簡易な修理	4日目	演習	農業機械の点検整備、簡易な修理	5日目	技能試験	
1日目	学科	トラクタの構造と機能の概論																																			
2日目	学科、演習	トラクタ事故の実体、点検整備用具の取り扱い、トラクタ、トレーラー基本操作																																			
3日目	演習	トラクタ、トレーラー基本運転操作、プラウ耕、ロータリー耕、歩行型トラクタ操作																																			
4日目	演習	トラクタ作業の基本、農業機械の点検整備、簡単な修理																																			
5日目	演習	農業機械の点検整備、簡易な修理、取り扱い作業の基本																																			
1日目	学科	農作業安全と農業機械の効率利用、トラクタの構造と機能																																			
2日目	学科	トラクタの構造と機能、点検と調整																																			
3日目	演習	農業機械の点検整備、簡易な修理																																			
4日目	演習	農業機械の点検整備、簡易な修理																																			
5日目	技能試験																																				
<p>・ 講義の進め方</p> <p>研修の時期は1年次8月下旬～9月上旬および1年次2月上旬～中旬の10日間であり、道立農業大学校農業機械研修センター（中川郡本別町）にて全寮制で行う。研修期間中の土・日曜日は休日なので実質12日間以上の研修となる。拓大では研修前に事前授業を実施する。研修日程の詳細は各学期始めに農業大学校より提示されるので、事前授業で連絡する。事前授業では研修の概要を説明し、各自願書を書いて提出してもらう。願書提出時には免許証サイズの証明写真（3.0cm×2.5cm）を2枚、住民票（本籍記載）が必要。その他連絡事項は必要に応じて掲示板に掲示する。</p>																																					
<p>・ 試験と成績評価</p> <p>研修センターからの検定試験成績と日常の寮生活態度の報告およびレポートの内容をもとに評価する。</p>																																					
<p>・ 担当教員から受講生諸君へ</p> <p>農業大学校拓大委託生は2月の研修が必修。それぞれの定員はおおむね20名（農大委託生含む）。定員割り振りは事前授業で行う。研修費用は、毎年多少変動はあるが全宿泊食事テキスト代保険等込み1万4千円程度で現地払い。なお、研修中は一般外部受講者と合流することもある。</p> <p>研修受講には「農業機械学」（1年前期科目）の単位が必須。また、技能検定試験に合格すると「農業機械士（中級）」の資格が得られるが、大型特殊免許が必須。大特免許がない学生は受講不可。</p>																																					
<p>・ 使用教材</p> <p>教科書：「トラクターの性能と基本操作」（農大研修センターで販売：2、300円）</p>																																					